



遊歩道  
一般道



いろいろな場所で観察できる

カマキリの卵囊

アトリ

ジョウビタキ

**このマップの使い方**

0月 ← 観察に適した月

名前 ← 周辺で観察できる生きもの

観察できた生きものを記録して、  
**自分だけのマップをつくってみましょう!!**

※気候や環境の変化によって、記載した場所・時期に観察できない場合があります。

※打吹山の大切な自然を守るために、生きものの採集はひかえましょう。

### 観察しよう～紫の実～

ムラサキシキブとヤブムラサキという木はどちらも、紫色の実を秋に付けます。よく似ていますが、実の付き方と葉の表面で判別できます。違いを観察してみましょう!!



#### ムラサキシキブ

- ・実の付き方  
3mm程の多数の実が上向きに付く
- ・葉の表面  
毛が少ない。

#### ヤブムラサキ



- ・実の付き方  
4mm程の少数の実が下向きに付く
- ・葉の表面  
毛が多い。  
フワフワした感触。

#### クサギ

葉に独特の匂いがある木。8月頃に白い花を咲かせる。秋になると、赤紫色の萼が星のように5つに開き、青紫色の果実が出てくる。



#### ヌスビトハギ

遊歩道脇や林縁に生えるマメ科の1年草。果実はいわゆる「ひっつき虫」。莢にある多数の小さい鉤で、服や動物にくっつき、運ばれる。



### 探してみよう～カマキリの仲間の卵囊～

打吹山では、5種類のカマキリの仲間が確認されています。卵は、泡立てたタンパク質が固まってできる卵囊に包まれています。卵囊は種類によって特徴があります。いろいろな場所を探してみましょう!!



オオカマキリ

#### オオカマキリ

産卵場所：草木の茎  
形状：大きなチマキ型  
大きさ：約4～5cm



#### ハラヒロカマキリ

産卵場所：丸太、電柱  
広い平面  
形状：小判型  
突起がある  
大きさ：約3cm



#### コカマキリ

産卵場所：石面など  
形状：細長い  
大きさ：約3cm



#### ヒメカマキリ

産卵場所：木や石のくぼみ  
形状：小さい小判型  
大きさ：約1.5cm



#### ヒナカマキリ

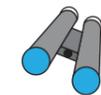
産卵場所：倒木や石の下  
形状：とても小さい  
細い突起がある  
大きさ：約0.7cm



実物大断面図



## 打吹山



### ウォッチングガイド



倉吉博物館では、打吹山の生きものの見どころを紹介する「打吹山ウォッチングガイド」を毎月発行しています。このマップはこれまでのガイドの中から3か月ごとに見どころを取り上げたものです。

詳細な解説は「打吹山ウォッチングガイド」の製本版 P.00 か A4版 No.△△ をご覧ください。

見開きに打吹山の地図を掲載しています。

#### キッコウハグマ

やや乾燥した日陰に生えるキク科の多年草。10月下旬から11月に白い花を咲かせる。3個の小花からなり、花びらが5つに裂けている。



#### マユタテアカネ

小型の赤トンボ。羽化直後の7月頃は橙色と黒色の地味な色合いだが、9月頃には、雄の腹部が赤色になる。遊歩道沿いで見かけることが多い。



ヤママユ(天蚕)の繭  
幼虫は6月に5cmほどの薄黄緑色の繭をつくる。葉があると目立たないが、落葉が始まると、枝についた繭を見つけやすい。高級絹糸の原料。



幼虫

#### ムラサキシジミ

3cmほどで、翅の裏は茶色、表は鮮やかな青紫色のシジミチョウ。寒くなると晴天の日だまりで日光浴をしているところを見かける。



#### アトリ

スズメ程の大きさの冬鳥で、大群をつくる。太い嘴で木の種子を食べる。白と茶色の色彩と、太い胴体に先が2つに割れた短い尾が特徴。



#### ジョウビタキ

木枯らしが吹く頃に、渡ってくる冬鳥。カッ、カッという鳴き声から火打石を打つ音を連想したことが、ヒタキ(火焚き)の仲間の名前の由来。



雄

雌